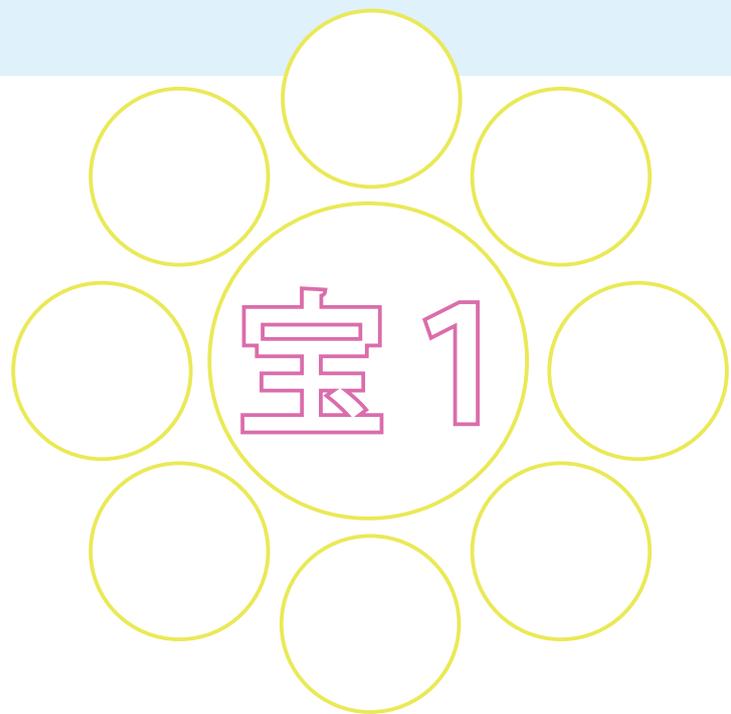


**光が共鳴する  
ホタルの乱舞**

(ヒメボタル鑑賞会=関連記事8~9頁)  
写真は7月12日、52分露光

主な  
内容

特集・黒山の昔穴遺跡……………	2～5	秋田駒ヶ岳で村民登山……………	14
パワーアップ教室で雨堤みへ……………	6～7	村民体育大会……………	18
一面輝くヒメボタル……………	8～9	東京多摩交響楽団演奏会……………	24



## 県指定史跡

# 「黒山の昔穴遺跡」を尋ねて

平成19年10月26日、村内で初めて県指定史跡に指定された、黒山の昔穴遺跡。その後の調査において、県指定範囲外にも、新たな窪地が確認されました。確認された窪地について、遺跡の可能性があるかどうか、現在、詳しい調査を進めています。

## 黒山の昔穴遺跡とは

### 遺跡の概要

村には、縄文時代を含めた幅広い年代の遺跡が数多く確認されています。そして、江刺家地区にあるこの黒山の昔穴遺跡は、極めて保存状態が良い平安時代後期（約1000年前）の遺跡です。この遺跡には約40の竪穴（地面から下に向けて掘られた人工的な窪地）があります。そのうち住居跡は約30程度と考えられ

ています。

竪穴は50センチから1メートルほど掘り下げられ土間になっており、柱は4本、カマドがあったと思われる。7メートル四方の竪穴では、高さが73センチもある須恵器の大甕が発見されました。この竪穴は、一番高く集落を見渡せる所にある大型住居跡であることから、有力者の住まいだったのではないかと推測されます。

### 位置と名称の由来

黒山の昔穴遺跡は本村と二戸市の境界にあたる小峠付近にある、主要地方道二戸九戸線の折爪トンネル九戸側入り口の南側、標高約430メートル、峠から東に張り出した峰の上に位置しています。標高400メートルを超える山中に立地する集落遺跡は、高地性集落または防衛性集落とも呼ばれており、この遺跡は典型的な高地性集落と考えられています。過去に人の手によって掘られた竪穴（住居跡）が、

埋まりきらないでへこんでいる状況から、地元の人々は昔穴と呼んでいます。また、この地を黒山と呼ぶことから「黒山の昔穴遺跡」と名付けられました。



有力者が住んでいたと考えられる、7m四方の竪穴住居跡。須恵器の大甕はここから出土されました

## 黒山の昔穴遺跡と 発掘調査地 (長興寺Ⅸ・外久保)



### 県指定外に 窪地を確認

県指定後、平成23年度に実施された調査において、県指定範囲外にも窪地が確認されました。

平成26年度には黒山の昔穴遺跡の範囲を確認するため、県指定範囲外にどの程度、窪地があるかを調べ、窪地の分布調査が実施され、江刺家地区から伊保内地区の範囲で900力所を超える窪地が確認されました。そして、この確認された窪地を図面にドット表示し、遺構分布図を作成しました。

### 調査指導委員会を 設立

これらのことを受け、平成27年7月に黒山の昔穴調査指導委員会を設立。4人の委員を任命し、今後の内容確認や調査検討の充実に努めました。平成27年度の遺跡調査は、昨年度の分布調査を継続し、数箇所 of 窪地の調査と遺物年代測定を実施しました。

平成28年度調査は、これまで確認されてきた分布調査の精査を進めました。

### 本年度は長興寺Ⅸ 遺跡と外久保遺跡

平成29年度は長興寺8地内にある長興寺Ⅸ遺跡について調査を実施。6月12日、遺跡調査着手式を行い、発掘調査員4人、発掘作業員3人の体制で発掘調査を開始しました。

また、この長興寺Ⅸ遺跡に続いて長興寺12地割内にある外久保遺跡についても発掘調査を実施します。



本年度発掘調査が進められている長興寺Ⅸ地区  
残っている堅穴の地層の状況と遺物を確認しています

## 黒山の昔穴で 花いっぱい運動



花が咲きわたることを願い、カタクリを植える江刺家小児童

黒山の昔穴遺跡で6月23日、花いっぱい運動が行われました。黒山の昔穴遺跡では平成19年度から毎年、江刺家小学校児童がカタクリの種を植え、この遺跡を花いっぱいにしてしようと活動を継続しています。全校児童34人が参加し、県立大学総合政策学部の講師菊池強一さんからこの遺跡と、カタクリの植え方について教わりました。

児童たちは学年ごとに分かれてカタクリを植栽。移植ベラを使って小さな種を丁寧に植えていました。児童たちは、この遺跡が数年後にはカタクリの花でいっ

ぱいになることを願いながら植栽していました。下條道悠 来君（5年）は「カタクリは種を植えても芽が出にくいことに驚いた。たくさんのお花を咲かせてほしい」と願っていました。

# 花いっぱい運動が 花開くことを祈願

花いっぱい運動を進める際、長く指導いただいている菊池強一さんにインタビューしました。その主な内容を掲載します。

日本を代表する黒山の昔穴遺跡。その黒山の昔穴遺跡は、平成19年に県指定を受ける前から地元・江刺家地区を上げて保存・啓蒙活動に取り組んできました。県指定後はカタクリの種を植え、地域の宝である黒山の昔穴遺跡を後世に伝承しようと、地域を上げて活動を継続してきました。この活動は全国的にも珍しく、各方面から注目されていました。

その後、平成19年から県指定を受けた範囲外にも遺跡の可能性がないか、平成26年から7年計画で調査・確認が進められています。国指定を目指し、黒山の昔穴遺跡と同じ

## ふるさとへの宝を国指定に



菊池 強一さん

九戸村文化財調査委員。

現在は岩手県立大学総合政策学部で講師を務める。盛岡市在住、73歳。

時期に高地性集落がどれぐらの範囲にあるのか、また、新たに発見された野穴が、黒山の昔穴と同じ時代なのかを解明するために、発掘調査が現在も進められています。

江刺家小学校の1年生から6年生までの全校児童と、お父さん、お母さん、地域の皆さんが一緒になり、ふるさとの宝を大事にしよう、普及・啓蒙活動が展開されています。

地元の小学校がリーダーとなり、教育活動の一環として学習に取り組み、この恵まれた地域の宝、「黒

山の昔穴遺跡」をカタクリの花でいっぱいにしてしようと種を植える取り組みは、注目をされることだと思えます。

非常にたぐいまれなる取り組みとも言える「黒山の昔穴遺跡の花いっぱい運動」。

この江刺家の宝が、ふるさとを愛する心が認められ、花が一面に咲きわたるとともに、この活動が花開くことを祈願します。

さらに、郷土の宝、九戸村の宝、日本の宝として国から指定されることを祈っています。

## 地域に愛される遺跡に



かずのり  
**高田 和徳さん**

平成27年7月から黒山の昔穴調査指導委員長に就任。現在は一戸町御所野縄文博物館で館長を務める。一戸町出身、67歳。

高田和徳さんは平成28年7月から黒山の昔穴調査指導委員会に就任し、委員長を務めています。先日、高田さんに黒山の昔穴遺跡の価値などについて、インタビューしました。その主な内容を紹介いたします。

九戸村にはおよそ1000年前、平安時代の遺跡が多く発見されており、当時の人たちが生活していたと考えられる堅穴住居跡などが多数発掘されています。その代表的なものが平成19年に県指定史跡となった黒山の昔穴遺跡です。遺跡は標高400m以上の山

の上に作られた珍しい遺跡で、しかもほとんど荒らされることもなく、そのまま残る貴重な遺跡として高く評価されています。ただなぜこのような高い場所に村を作ったのか、ここでどのような生活をしてきたのか、ということはまだ解明途中にあります。以上のことを明らかにするため、本年度は新たに発見された長興寺IV遺跡と外久保遺跡の調査に着手しました。まだ調査の途中です

が、遺物がいくつも見つかっています。今後、調査を進めて黒山の昔穴との関連性などを明らかにしていきたいと考えています。

村には豊かな自然環境の中に多くの遺跡が見つかっており、縄文時代から中世までの遺跡の宝庫となっています。その中にはあまり手の加えられていない遺跡が多いことから、将来、村にとつてかけがえのない財産になると思います。

黒山の昔穴遺跡では、小学生がカタクリを植えたりして環境整備をしながら、遺跡の保存に力を入れており、しかもその活動を何年も継続しています。素晴らしいことだと思います。今後は子どもたちだけでなく、地域の皆さんも一緒になってこの遺跡を保存していきたいでしょう。

## 幾千年の悠久の歴史に触れる

九戸村は、210を超える遺跡があります。黒山の昔穴遺跡は、村内唯一の県指定遺跡です。

黒山の昔穴遺跡の調査は、昭和7年には行われました。現在は、村民の皆さまのご理解と協力の下、菊池強一先生や高田和徳先生をはじめ、多くの皆さまからご指導いただきながら発掘調査を進めています。

は、極めて保存状態が良く、典型的な高地性集落として、歴史的に価値あるものと言われております。今回の調査は、平成32年度完了を目指し、遺跡の範囲拡大とその当時の集落群を取り巻く自然環境、生活環境、文化水準などを含めて明らかにすることとしています。

黒山の昔穴遺跡の調査結果は、遺跡や遺物に触れる子どもたちの体験学習や幾千年の悠久の歴史に触れる保護活動に活用し、先人の汗と智慧を感じ取り、村の誇りを感じるよう、学校教育や社会教育に生かしてまいります。

(村教育委員会生涯学習班 担当 桂川祐太郎)

発掘調査の内容については次のように現地で説明会を開催します。黒山の昔穴遺跡も見ることができまのでぜひ参加ください。

### ■現地説明会(予定)

#### ▽日時

8月27日(日)  
午前10時30分

#### ▽現地

黒山の昔穴遺跡、長興寺IX遺跡、外久保遺跡

#### ■その他

詳細は後日、お知らせします。

#### ■問い合わせ

村教育委員会生涯学習班  
(☎42-2111内線304)

# 宝2

7月13日、パワーア  
ップ教室が開かれ、参加者  
32人がウォーキングに汗  
を流しました。参加者は  
伊保内の雲渡から雨堤<sup>あまづみ</sup>み  
と呼ばれるため池に立ち  
寄り、長興寺銚子まで散  
策を楽しみました。

村山友会の協力を得  
て、鮮やかな緑に映える  
花や果実を楽しみながら  
歩きました。真夏日にも  
なり、強い日差しが差し  
込む中、参加者は汗を拭  
いながらも、友人たちと  
の会話を弾ませて歩みを  
進めていました。



## パワーアアップ教室で雨堤みへ

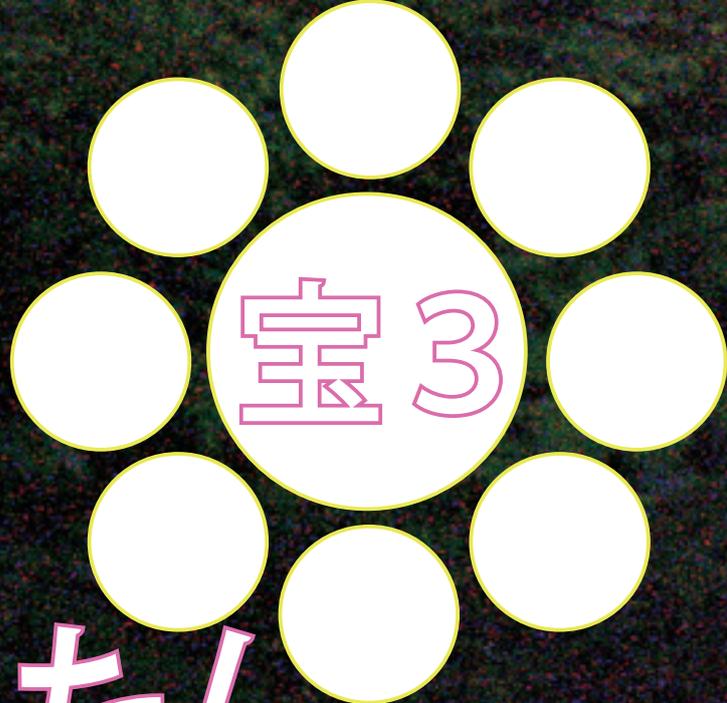
# 癒し空間

目的地である雨堤みに到着すると、水面にかれんに咲き誇るスイレンが参加者をお出迎え。参加者はここまで歩いてきた疲れを忘れたかのように、「きれいですてき。神秘的」と歓声を上げながら、秘境が醸し出す癒しの空間を満喫していました。

約150名ある雨堤みを一周した後、渡フヂエさん（川向）がこの地に伝わる民話を紹介。白い大蛇が住んでいるという雨堤みの民話を聞いた参加者は、神秘的な伝説に思いをはせていました。

# 秘境が醸す

一面輝く



光のじゅうたん

九戸村と三戸市、軽米町の3町村にまたがる折爪岳において、7月15日と17日に村主催のヒメボタル鑑賞会が開かれました。無料シャトルバスが運行された2日間は、県内外から32人が集まり、ヒメボタルについて紹介を受けながら、暗闇に踊り輝く光の演舞を楽しみました。

また、本村の自然環境と整備条件が良くヒメボタルが多いとの噂を聞きつけ、7月上旬から下旬にかけて宮城県や福島県、東京都から多くの観光客が訪問。周囲360度、見渡す限り一面に乱舞する、幻想的な光のじゅうたんに酔いしれていました。



小枝璃桜さんが  
取材しました

お菓子作りが好きで、家で作れない物を作りたくて小笠原菓子舗を選びました。「テレビで見ると簡単そうだけど、やってみると難しかったです。サクランボや

ミカンをモチーフにした和菓子は上手に作れたと思うし、店員さんにほめてもらえてうれしかった」(皆川友佳さん)

## 九戸中生が職場体験

7月5日から3日間、村内の21事業所で九戸中学校の2年生48人が職場体験をしました。この体験はキャリア教育の一環として、社会の一員となり実際に働く体験を通して、将来どう生きていくかを考える機会にするものです。



大崎可幾君が  
取材しました

小笠原菓子舗では、パンの生地作りや袋詰めをしました。ケーキやお菓子を作っていることが楽しそうだったので、この事業所を選びました。「メロンパンの生地を作る時、生地をまとめることが大変だった。でも、お菓子を作ることができて楽しかった」(古館志帆さん)

### 小笠原菓子舗



「甘茶でかつぼれ」の袋詰め挑戦



指導を受けながらお菓子作りを体験しました

### 中一サービスステーション

中一サービスステーションでは、給油作業や機械操作、窓拭きを体験し、タイヤ交換も挑戦しました。「接客業で知らない人でも笑顔で接することを学びました。給油や窓拭き作業では、急いでやらないといけないことが大変でした」(古館史喬君、松澤希龍君)



給油作業を体験しました

### (有)柴藤自動車

柴藤自動車では、車の回り洗車や、手作業と機械を使い、タイヤの組み換え作業を体験しました。

「車に興味があり、車に触れてみたくてこの事業所を選びました。車の洗車作業は体勢もきつくて大変だった。手作業でのタイヤの組み換えは、体や器具の使い方が難しかった」(齊藤碧音君、玉川政貴君)



タイヤの組み換えを体験

人権を大切にしよう

思いやりの心を育む

伊保内保育園で6月22日、人権の花運動が行われました。

4、5歳児30人が参加し、人権擁護委員の上村陸巳さんと細川育子さんから説明を受けながら花苗を植栽しました。園児たちは相手を思う心大切にしようと、ペチュニアや

マリーゴールドの苗をプランターに協力しながら優しく手植えました。きれいな花と優しい心が育つように願いを込めて植えていました。

人権映画上映会が6月29日、HOZホールで開催され、村内の小中学校の児童・生徒265人が映画「聲の形」を観賞しました。児童生徒は映画を観賞し、人権の大切さを身を持って感じていました。

人権擁護委員に上村陸巳さん



上村 陸巳さん

上村陸巳さん(51川向)が4月1日付けで、法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。任期は平成32年3月31日までの3年間で

人権擁護委員は、家庭内や学校、職場、近隣関係など多様化する人権問題について、いつでも相談に応じています。相談は無料で、秘密は守られます。



命を大切にしようという願いを込めて伊保内保育園の園児たちが花を植えています。



映画「聲の形」を観賞し、人権について学ぶ児童生徒たち。

安心・安全な「道」へ

ご理解と協力をお願いします

■道路上の樹木の枝切り

自宅前の樹木の枝や葉が道路上に飛び出していますか。道路上に枝や葉が飛び出ていると、児童・生徒などの歩行者や車両通行の妨げになり、交通事故につながる恐れがあります。樹木などの管理は所有者の責任となります。

交通事故を未然に防止し、安全・安心に道路を通行できるように、沿道に土地を持っている人は定期的な樹木の枝切り、刈り込みをお願いします。

また、道路上に物を置いて占有する行為も通行の妨げとなりますので、今一度確認をお願いします。

■里道・旧赤線の維持管理

昨年の台風などによる被災箇所において、皆さまはご不便をお掛けしています。現在、村内一丸となって復旧に努めています。



国道や村道以外の法定外公共物(里道や旧赤線と呼ばれる道)については、地域の皆さんや利用者に維持管理をお願いしますが、皆さまのご協力によって徐々に復旧しています。現在も交通に支障をきたすような箇所がありましたら、今後とも適切な維持管理へのご協力をお願いします。

■問い合わせ

農林建設課地域整備班(☎42-2111内線282・佐藤)

# 職員採用試験

平成 29 年度村職員採用試験を次の通り行います。

この試験は、平成 30 年度の村職員採用候補者を決めるために行うものです。

## ■試験職種および採用予定人員

- ①一般事務……………若干名
- ②保育士・幼稚園教諭…………… 1 名
- ③保健師…………… 1 名

## ■受験資格

- ①一般事務…昭和 57 年 4 月 2 日から平成 12 年 4 月 1 日までの間に生まれた人
- ②保育士・幼稚園教諭…昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、保育士資格および幼稚園教諭 2 種免許の両方を有している人、または採用までに取得する見込みの人
- ③保健師…昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、保健師免許を有している人、または採用までに取得する見込みの人



本年度入庁した一般事務職員

## ■受験申込期限

- 8月16日(水)まで  
※郵送の場合は、8月16日(水)午後5時30分必着のものに限り受け付けます。

## ■受験手続き

- 申込書に必要事項を記入し、所定箇所に写真を貼り、総務企画課に提出してください。
- 申込書などは総務企画課で配布します。
- 申込書などを郵便で請求する場合は、封筒の表に「試験申込用紙請求」と朱書きし、140円切手を貼った宛先明記の返信用封筒(33㌻×24㌻程度)を同封の上、総務企画課に請求してください。

## ■試験の日時と場所

### 《第1次試験》

- 日時…9月17日(日) 午前10時開始
- 場所…二戸市立福岡中学校
- 試験方法 ①一般事務…教養試験・適性検査・作文試験  
②保育士・幼稚園教諭および保健師…教養試験・専門試験・作文試験

### 《第2次試験》

11月上旬ごろ

## ■申し込み・問い合わせ

〒028-6502 九戸郡九戸村大字伊保内10-11-6  
九戸村役場総務企画課庶務財政班 (☎42-2111内線168)

## 村の花・鳥・木



ツツジ



ヤマドリ



アカマツ



# 九戸まつり

## 8月17日 (木)

- みこし渡御・山車運行 午後4時～ 伊保内 (熊野神社⇒八幡宮)
- 花火大会 午後8時～ 伊保内町裏

## 8月18日 (金)

- 剣舞 (伊保内小学校児童) 午後6時～ 伊保内 (鹿島⇒村役場)
- 九戸音頭・ナニヤドヤラ流し踊り 午後6時30分～ 伊保内 (鹿島⇒村役場)

## 8月19日 (土)

- みこし還御・山車運行・山車競演 午後4時～ 伊保内 (八幡宮⇒熊野神社)

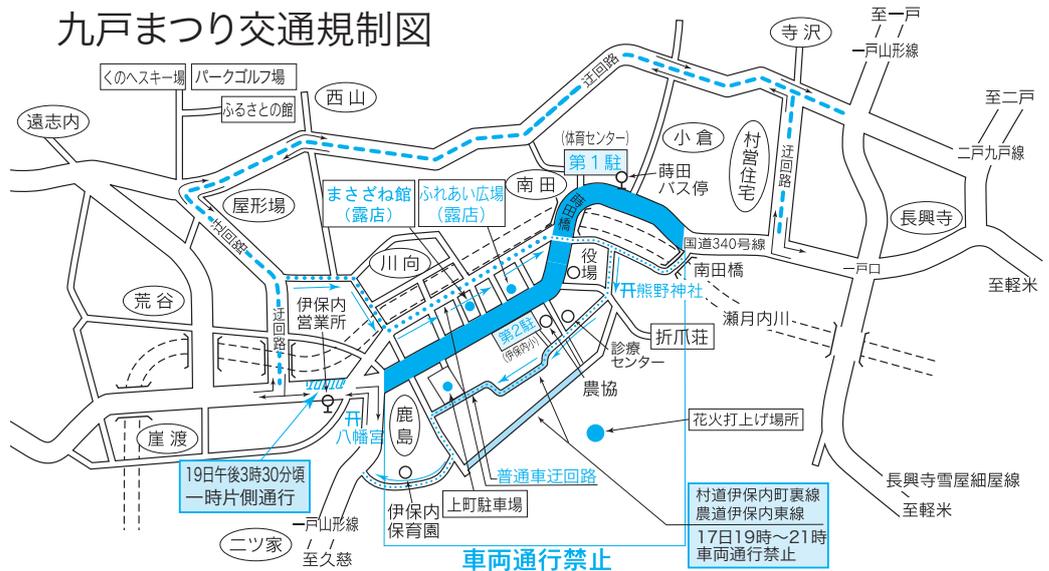
### 一方通行のお願い

国道340号線車両通行禁止時間帯は、村道伊保内町裏線は戸田・ニツ家方面へ、村道南田鹿島線は江刺家方面への一方通行とさせていただきますので、ご協力をお願いします。

### 路線バス交通規制

8月17日、19日は午後3時30分から午後6時30分まで、18日は午後6時から午後9時まで、役場～鹿島間は運休となります。二戸・江刺家方面へ向かうお客様は蒔田バス停から、葛巻・瀬月内方面へ向かうお客様は伊保内営業所から乗車ください。

### 九戸まつり交通規制図



規 制		内 容	駐 車 場		は ん 例	
8月17日	15時30分から18時30分まで	南田橋～鹿島交差点 車両通行禁止	第1駐車場 九戸村 体育センター	交通規制時間内 入出車禁止 但し、農免道へは入出制限なし	→	大型車進行方向
	19時00分から21時00分まで	村道伊保内町裏線 農道伊保内東線 *(花火観望の際は19日)			→	普通車進行方向
8月18日	18時00分から21時00分まで	蒔田橋～鹿島交差点 〃	第2駐車場 伊保内小学校	交通規制時間内 入出車禁止 但し、小学校裏口は 入出制限なし	■	第1駐 車 場
8月19日	15時30分から18時30分まで	蒔田橋～鹿島交差点 〃			---	迂 回 路
			.....	普通車迂回路		

※各駐車場にはゴミなどは散らかさず持ち帰りください。



登山をし、阿弥陀池（あみだいけ）を背景に記念写真を撮る参加者

# m u r a n o w a d a i むらのわだい

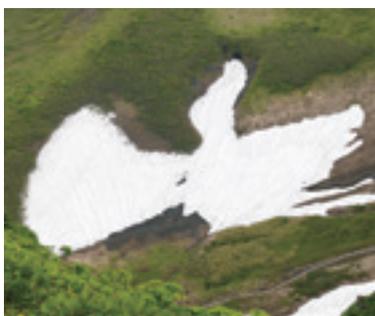
皆さんからいろいろな情報をお待ちしています。  
お気軽に広報担当☎42-2111（内線168）へお寄せください。

## 秋田駒ヶ岳で村民登山 白鳥の雪溪に感嘆の声

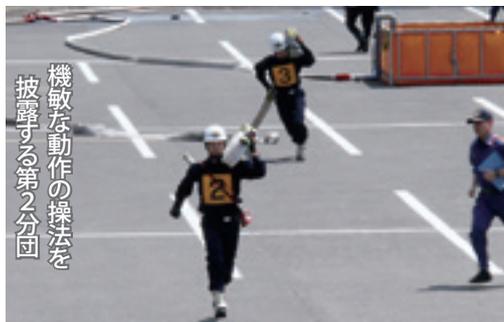
村民登山は6月25日に秋田駒ヶ岳で行われ、村内外から50人が参加して登山を楽しみました。参加者は村山友会の協力を得て、2つのグループに分かれ2～3時間かけて山頂の男岳を目指しました。秋田駒ヶ岳は花の百名山とも呼ばれるほど高山植物が豊富な山としても有名で、ハンショウヅルやハクサンチドリなど30種にも及ぶたくさんの山野草が登山者の目を楽しませてくれました。また、残雪が見られる箇所もあり、白鳥の姿にも見える雪溪には感嘆の声が上がっていました。帰りには温泉にも立ち寄り、心も体も癒された参加者は満足そうに帰路に就いていました。



多様な高山植物が目を楽しませてくれました（写真はイワウメ）



白鳥姿の残雪が鮮やかに浮かび上がっていました



機敏な動作の操法を披露する第2分団



最速タイムで優勝を勝ち取った第14分団



二戸地区支部で4連覇を達成した第14分団  
前列左から橋本祐輔団員、関畑友昭班長、  
後列左から千葉暢威班長、岩瀬信毅団員

## 二戸地区支部消防操法競技会 第14分団が4連覇

7月2日、軽米町ハートフル・スポーツランドで二戸地区支部消防操法競技会が行われました。管内各市町村を勝ち抜いた8つの分団が集まり、二戸地区の頂点を争いました。本村からは、ポンプ車の部に第2分団、小型ポンプの部に第14分団が出場し、士気高く競技に全力で挑んでいました。競技の結果、小型ポンプの部に出場した第14分団が見事、優勝に輝き、支部4連覇を達成しました。第2分団は風の悪影響も受け、健闘及ばず4位となりました。



風情ある流しそうめんに関心を和ませる参加者

## 介護予防教室で流しそうめん 夏の風物詩に癒される

6月30日、コロポックルランドにおいて介護予防教室が行われました。長興寺と江刺家地区の希望者26人が参加し、ヘルストンの湯で体を癒した後に流しそうめんを食べ、夏の風物詩を満喫しました。また、午後からは日々の潤いと活力をもたらすように、脳トレや縫い物をしました。

介護予防教室は地区ごとに年間20回ぐらい開かれ、夏バテを防ごうと流しそうめんを企画。参加者は「うまく取れない。おいしい」などと歓声を上げながら、涼しげな風流ある催しを楽しんでいました。千葉ソメさん(87=長興寺上)は「風情があり歯応えもあり、おいしかった」と喜んでいました。



たくさんの山野草を楽しみながら



雪渓が残る所も歩き自然を満喫しました



会話を弾ませながらウォーキングを楽しむ参加者

## みんなで楽しむ健康づくり 仲間と歩き爽やかな汗

みんなで楽しむ健康づくりが7月9日、HOZホールで開かれました。真夏日にもなったこの日、50人が参加しウォーキングに挑戦しました。最初に、日本ウォーキング協会公認指導員の橋本純子さんがウォーキングについて講話しました。準備運動は反動をつけずにゆったりやることや、小まめに水分補給をすることなどを指導。参加者は村老人福祉センターに移動後、3.6kmのコースを仲間と会話を弾ませたり、景色を楽しみながら約1時間かけて歩き、汗を流していました。

## 九戸村から県に要望書を提出 企業誘致など6項目要望

7月12日、HOZホールにおいて九戸村から岩手県に要望書を提出しました。県北広域振興局と九戸村の幹部職員や村議会議員など23人が参加。県議会議員の工藤大輔副議長が立ち会いの下、五枚橋久夫村長は八重樫一洋局長に、村の要請事項を記載した要望書を手渡しました。九戸インター工業団地への企業誘致の促進や九戸地域診療センターの医療体制の充実、伊保内高等学校の存続についてなど6項目について要望内容を伝えました。



五枚橋村長(右)が八重樫局長に要望書を手渡しました

## 中村岩藏さん 元気に102歳



102歳を祝福される中村岩藏さん（前列中）

中村岩藏さん（宇堂口）が7月8日、102歳の誕生日を迎え、家族や親せきなどと長寿を祝いました。五枚橋久夫村長が自宅を訪問し、花束と長寿祝い金を手渡し祝福しました。中村さんは今でも一人で外に出掛けるほど元気なそうです。「みんなに祝ってもらってうれしい」と、笑顔を広げていました。いつまでも健康やかに過ごしてください。

## 死亡事故ゼロ1000日達成

村では7月5日に交通事故死亡事故ゼロ1000日を達成し、11日に役場村長室で表彰式が行われました。

村内の交通安全関係者が集まる中、五枚橋久夫村長へ表彰状が伝達されました。五枚橋村長は「表彰を契機に交通事故防止の思いを一層新たにし、今後とも『進みたい』とあいさつし、気持ちを引き締めています」。



交通安全事故抑止1000日達成を喜ぶ五枚橋村長（前列中）

## 戸田ジュニア県準優勝

戸田ジュニアバレーボールスポート少年団は、6月24日と25日に花巻市で行われた、全日本バレーボール小学生大会岩手県大会において、準優勝に輝きました。女子の部に県内から43チームが出場。同少年団は3



県準優勝に輝いた戸田ジュニアバレーボール

チームで争われた予選リーグを全勝で勝ち進み、決勝トーナメントでは2試合とも1セットも落とさず決勝へ進出。決勝では同少年団が岩手びつきいっず（岩手町）に健闘及ばず、惜しくも2位となりました。

## 授業力向上を目指して

村授業力向上研修会は6月30日、教員26人が集まり伊保内小学校で開かれました。4年生17人を対象に国語の示範授業を実施。戦争が書かれた教材を基に、児童たちは登場人物の気持ちを考え、グループでまとめた意見を発表しました。参加した教員たちは、意欲的に学ぶ児童を見ながら、授業の向上に役立てようと、真剣なまなざしで示範授業を聞いていました。



話し合いをしながらグループの意見をまとめる伊保内小4年生

## わが家の人気者

1歳のお誕生日おめでとう☆

たいち  
上山 泰知くん

8月6日生まれ／長男／柿の木  
(父)信一さん(母)明清さん

「のびのび元気に大きくなってね」  
お父さん・お母さんより



かいと  
小野寺 海斗くん

8月9日生まれ／二男／小倉  
(父)多市さん(母)みどりさん

「お兄ちゃんと仲良く元気に育って  
ね!!」お父さん・お母さんより



友達の輪 28



篠山 啓輔さん

33歳・泥の木

高校卒業後、(株)阿部繁孝商店に就職。平成22年に結婚し、妻・史絵さん(32)と長女・乃愛ちゃん(5)、長男・健之介君(1)と家族4人で幸せに暮らしています。

- ◆趣味は？ 休日に山ブドウや水稲などを生産し、農業に汗を流しています。
- ◆休みの日は？ 子どもと散歩をしたり絵本を読んだりして遊んでいます。
- ◆一番の楽しみは？ 家族で旅行に行くことが楽しみです。
- ◆将来の夢は？ 退職後は農業に専念し、長生きし平和に暮らしたいですね。

友達の輪をつなげていこうと、自分の友人を紹介していくコーナーです。

元気スマイル 29



野辺地 金蔵さん

大正13年1月15日生・93歳(田代)

19歳のときに結婚し2男1女に恵まれ、葉タバコを5反歩ほど育て生計を立ててきました。

- ◆心掛けていることは？ 歩くことを欠かさず、毎日2kmぐらい歩いているよ。
- ◆一番の楽しみは？ カラオケが好きで今も友人と歌いに行くよ。
- ◆幸せに感じることは？ これまで長生きできて、神仏への感謝の思いでいっぱいだね。
- ◆一番の思い出は？ 国民徴用令や兵役で強制労働したことだね。

むらの文芸

第351回 くのへ俳句会

菅野 岑子

草青む手に叶ひたる鋏を買ふ  
望郷の句碑たつ駅や春時雨  
一人降りひとり乗る駅いたち草  
あわあわと芽立ちの色の雑木山  
白樺の芽吹き明るき峠かな

田村 畦畔

北海道産直どこもメロン箱  
駅ホーム南部風鈴客迎ふ  
来て見よと妻の呼ぶ声峡夕焼  
網戸のみ開けて就寝今日も又  
早朝の草取予定早寝する

炎天下一雨ありて生氣受く

冬部 雪女

大夕焼西方浄土に父母の住む  
風鈴と吊りてまどろむ夢青き  
一切れのメロン添へある患者食  
なりゆきに従う暮らし紫蘇をもむ  
万緑や活字の大きまべち句集  
一村を培う堰の青田水

高島ふみ女

夕焼や明日に祈りし平穏を  
風鈴や恩師健在鑄物の町  
三年臥すメロンが届き継ぐ絆  
流れ星いつかわたしも星になる  
父母ありし頃のふるさと桐の花  
ネクタイを片手で緩めビール呑む

館村 青村

暮れ泥む大夕焼けの郷里かな

良き風に南部風鈴良き調べ  
冷やしたる美味芳香のメロンかな  
六千人割ったる村や閑古鳥  
過疎の村螢は岳に群れて栖む  
炎帝や田畑の作は良く育つ  
救急車又も音する炎暑かな  
残照の折爪岳や雲の峰

【六月席題詠より】

一生の苦難幾多やありじごく (赤藤)

絵手紙や無造作に描くサクランボ (ふみ女)

父の日や無言で教えた父の背な (青村)

少年に戻る一瞬蟻地獄

言葉の幸ふ国や風薫る

そよ風や独り無言の夕涼み

浮き世には鬼畜の多し蟻地獄

(青村)



強烈なスパイクが飛び交ったバレーボール男子



声を掛け合いボールをつなぐバレーボール女子



強い日差しの下、熱戦が繰り広げられた野球

①長興寺

■ゲートボール

技に熱中していました。

30度を超える真夏日の中、4種目に243人が参加し、熱戦の火ぶたが切って落とされました。選手たちはゲートボール、野球、バレーボール男女、卓球において、それぞれの地区のプライドを懸けて、勝利を目指して競技に熱中していました。

## プライドを懸け競技に熱中

③伊保内1区

②戸田2区

①伊保内2区

■卓球

③伊保内2区

②伊保内1区

①戸田2区

■バレーボール(女子)

③伊保内2区

②戸田2区

①長興寺

■バレーボール(男子)

③戸田2区、長興寺

②伊保内2区

①伊保内1区

■野球

③伊保内1区

②伊保内2区

戦略を練りながら試合を進めたゲートボール



声援を受けながら、白熱した試合が展開された卓球



# 九 戸 中 学 校

## 県大会の結果

- 県中学校総合体育大会に出場した、九戸中学校の結果は次の通りとなりました。
- 野球  
九戸中2―0豊間  
根中  
九戸中0―3滝沢南中  
県ベスト16
- バレーボール男子  
九戸中2―0滝沢中  
九戸中1―2石鳥谷中  
県ベスト16
- バレーボール女子  
九戸中2―0厨川中  
九戸中2―0雫石中
- 九戸中0―2胆沢中  
県ベスト8
- 卓球団体男子  
九戸中3―1滝沢南中  
九戸中1―3江刺一中  
県ベスト16
- 卓球団体女子  
九戸中1―3金ヶ崎中
- テニス団体女子  
九戸中0―3和賀東中
- 柔道個人  
山本司 1回戦敗退  
澤口悠聖 1回戦敗退
- 卓球個人  
山下さくら 2回戦敗退  
觸澤雪莉 2回戦敗退  
川原歩士 3回戦敗退
- 各節において、多くの皆

## Books

❖ 今月のおすすめ図書

### 夏をなくした少年たち

生馬 直樹 著／新潮社



僕たちの夏の冒険はあまりにも悲しかった。新潟の田舎町に住むお騒がせ4人組が小学校最後の夏休み。花火大会の夜に想像を絶する後悔を知った。それから20年余り。惨めな遺体が発見され…。

第3回新潮ミステリー大賞。

### 本を守ろうとする猫の話

夏川 草介 著／小学館

高校生の夏木林太郎は、祖父を突然亡くした。祖父が営んでいた古書店をたまたみ、叔母に引き取られることになった林太郎の前に、人間の言葉話すトラネコが現れる。「神様のカルテ」の著者による現代版、銀河鉄道の夜。



### ぼくらの祖国

青山 繁晴 著／扶桑社



あなたは祖国を知っていますか。僕は知らなかった。なぜか。日本の学校では教えないからだ。日本の大人も語らないからだ。みんな日本国民だけど、日本を祖国と意識したことがあるだろうか？東日本大震災が起きてしまった今こそ問い直したい。

### うみのそこたんけん

中川 ひろたか 文／アリス館

僕の両親は、瀬戸内海の島の出身。毎年、夏には島を訪れていました。

海水を全部なくしたら、海の底はどうなっているんだろうと、小さい頃から思っていた作者の長年の思いがかった楽しい絵本。



○開館時間／平日9時～19時・土日祝9時～17時  
○休館日／年末年始・8月13日～16日

## 伊 保 内 高 校

### 70周年迎え同窓会名簿作成

副校長 小原 由紀

伊保内高等学校は、昭和24年「九戸の地へ高校を」との地域の熱意で開校し、地域に有用な人材の育成にまい進を続け、平成31年度

に創立70周年を迎えます。

先の部活動後援会総会、PTA総会、同窓会総会において、記念事業の実施、同窓会名簿の発行について、それぞれ満場一致で賛同いただきました。同窓会では、

名簿作成業務を(株)サラトに委託し、同窓生の皆さまに名簿発行のお知らせと、調査カードの配布を開始しています。

- 今回の名簿作成は、創立50周年記念名簿（平成10年3月発行）以来20年ぶりとなります。伊保内高校が地域に根差した学校として一層発展すべく、皆さまのご理解と協力をお願いします。
- ▽名簿発行日  
平成30年4月下旬
  - ▽体裁  
A4判（約120ページ）
  - ▽価格  
4500円
  - ▽名簿作成委託先  
このたびの名簿作成は、正式な同窓会事業として株式会社サラト（兵庫県姫路市）に委託しています。

## 夏に気を付けたい食中毒

夏は冷たい刺身がおいしい季節です。また、バーベキューなどで肉を食べたり、帰省した家族といつもより多めに料理をする機会が増えます。

### ■ 魚介類はアニサキスに注意

魚介類で多い食中毒はアニサキスです。

#### ▽ アニサキスの特徴

- 寄生虫（線虫類）
- 2〜3センチで白色の太い糸のような形状
- 寄生している魚介類はサバ、サンマ、カツオ、イナダ、イワシ、アジ、イカなど

#### ▽ 食中毒の症状と対応

寄生した魚介類を食べると8時間以内に、主に激しい腹痛・吐き



気・おう吐を伴うことがあります。

- 加熱する ↓ 60度で1分、70度以上で加熱
- 冷凍する ↓ マイナス20度で24時間以上
- 目で確認・除去 ↓ 白い糸のようなアニサキス幼虫を取り除きます

一般的な料理では酢の使用でもアニサキスは生き残ります。また、イカは白く、アニサキスも見にくいので注意してください。

### ■ 生肉は注意。加熱し消毒を

肉の食中毒を避けるために、次の4点に注意しましょう。

- ① 肉は新鮮だから生でも安心は間違い。うっかり勘違いの生肉料理は厳禁。生肉を食べていけないものは、鳥刺し、鳥わさ（内臓含む）、牛レバー、豚肉（内臓含む）
- ② 中心部の色が変わるまでがっちり加熱する
- ③ 調理器具は、生肉用と他の食品用をはっきりと使い分ける
- ④ 牛肉に触れた手指や調理器具は、しっかりと洗浄と消毒をする

加熱不十分な鶏肉での「鶏肉のすし」では、カンピロバクターが原因で食中毒になる人が多数報告されています。



正しく食べて食中毒を防ぎましょう。

（栄養士 高見館 ハスミ）

## 70歳以上の高額療養費の限度額が変更

平成29年8月から、70歳以上の人の高額療養費の上限額が変わりました。

### ■ 高額療養費とは

高額療養費とは、一カ月に支払った医療費が高額になり、決められた上限額を超えた場合に、上限額を超えて支払った分を払い戻す制度です。

### ■ 高額療養費の上限額が変更

高額療養費の上限額は、世帯の所得に応じて決まっており、70歳以上の人は、8月から下表の通りに変更になります。

### ■ 限度額適用認定証が便利

事前の申請によって医療機関窓口での支払いが自己負担限度額までになります。認定証を医療機関へ提示してください。

### 【申請の方法】

保険証と印鑑を持参の上、住民生活課窓口で申請してください。平成29年7月31日で有効期限が切れている人は、再度交付申請が必要です。住民税が課税されている世帯の70歳以上の人は、交付対象となりません。

区分	外来 (個人単位)	外来+入院 (世帯単位)
現役並みの所得者	57,600 円	80,100 円 + (医療費 - 267,000 円) × 1% (4回目以降は 44,400 円)
一般	14,000 円 (年間上限 144,000 円)	57,600 円 (4回目以降は 44,400 円)
低所得者 II ※1	8,000 円	24,600 円
低所得者 I ※2	8,000 円	15,000 円

太字の箇所が変更箇所

※1 世帯の国保被保険者全員が住民税非課税の人

※2 世帯の国保被保険者全員が住民税非課税で、その世帯の各所得が必要経費・控除（年金の所得は控除額を80万円として計算）を差し引いたときに0円となる人

（国保担当 小野寺 さゆり）

## 20歳になったら国民年金

国民年金は老後の生活保障だけでなく、万が一、病気やケガで障がいが残ったときにも、私たちの生活の安定が損なわれることのないよう、みんなで保険料を収めることで、年金を受け取ることができるとお互いを支え合う制度です。

20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納めることになっていきます。20歳になったら役場で加入手

続きをしてください。(20歳前に就職して厚生年金などに加入している人は、第2号被保険者となります)ので、加入手続きは不要です)

なお、学生であるなど、収入が少ないために国民年金保険料が納付できない場合は、申請によって保険料の納付が猶予・免除となる制度があります。

問 住民生活課国保住民班 ☎ 42 2 1 1 1 1 内線 2 1 1

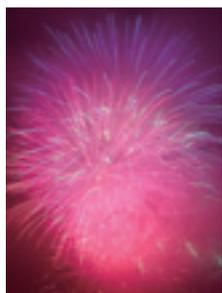
問 二戸年金事務所 ☎ 23 4 1 1 1

## 消防署だより

### 花火を楽しく安全に

夏を迎え、花火を楽しむ季節がやってきました。おもちゃ花火でも火災にあったり、火傷をしたりなどの事故になりかねません。次の事に注意して、楽しく遊みましょう。

- 水の入ったバケツなどを用意する
- 風の強い乾燥した日には花火をしない



- 子どもだけで花火をしない
- 燃えやすい物がない、安全な場所を選ぶ

問 二戸消防署九戸分署 ☎ 42 3 1 1 9

村内の火災・救急 (6月分)

区分	件数	1月からの累計	前年比
火災	0件	0件	-1件
救急	25件	138件	-24件

## 夏の交通事故防止県民運動

### 運動期間

8月1日(火) から10日(木)までの10日間

### 過労運転に注意

疲れや眠気を感じる前に小まめに休憩を取り、車外に出て体を動かすなどして、心身ともにリフレッシュしましょう。

### シートベルトが命を守る

シートベルトやチャイルドシートを正しく着用していないと、交通事故に遭ったときに車内に体を打ち付けたり、車外に投げ出されたりして、重大事故や死亡事故につながる恐れがあります。



### 子どもを交通事故から守りましょう

保護者は子どもに対して、決して道路に飛び出さず、危険が予想される場所では「止まる・見る・

問 二戸警察署九戸駐在所 ☎ 42 2 2 1 0

待つ」を徹底するように、繰り返し指導しましょう。

学校や公園の近くなど、子どもの飛び出しが予測される場所を走行するときには、速度を控え、慎重に運転しましょう。

### 飲酒運転の根絶

飲酒運転は、罰金や運転免許の取り消しだけに収まらず、本人の経歴や生活を崩壊させることとなります。

飲酒運転は悪質・危険な犯罪です。お酒を飲んだら車の運転は絶対にやめましょう。

村内の交通事故 (6月分)

区分	件数	1月からの累計	前年比
人身事故	0件	3件	+3件
物損事故	2件	24件	-6件
負傷者	0人	3人	+3人
死亡者	0人	0人	±0人
飲酒運転検挙者	0人	1人	+0人

◎ 村の交通死亡事故ゼロ日数…… 995日 (6月30日現在)



## 林業アカデミー 研修生を募集

県では、いわて林業アカデミーの平成30年度研修生を募集します。

■研修期間 1年間

■応募資格 高等学校の卒業生(見込み含む)で概ね30歳までの人

■給付金制度 あり(支給要件あり)

■募集期間

▷推薦選考

8月7日(月)～9月1日(金)

▷一般選考(前期)

10月10日(火)～27日(金)

▷一般選考(後期)

12月4日(月)～22日(金)

■申し込み・問い合わせ 県林業技術センター研修部(☎019-697-1536)

## 食中毒対策の シンポジウム

ノロウイルスによる健康被害について学ぶシンポジウムを開催します。

■日時 10月30日(月)

午後1時30分～午後4時10分

■場所 いわて県民情報交流センター「アイーナ」7階

■内容 講演Ⅰ、講演Ⅱ、意見交換・質疑

■入場料 無料

■申込期限 10月13日(金)

■申込方法 ①氏名、②人数、③居住市町村名を添えて、下記へ申し込みください。

■申し込み・問い合わせ 県環境生活部県民くらしの安全課(☎019-629-5322)

## 交通安全の年間 スローガン募集

交通安全の年間スローガンを募集します。

◀一般部門A▶

■応募資格 誰でも応募可能

■内容 運転者(同乗者含む)へ呼び掛けるもの

◀一般部門B▶

■応募資格 誰でも応募可能

■内容 歩行者・自転車利用者へ呼び掛けるもの

◀子ども部門▶

■応募資格 中学生以下に限る

■内容 中学生以下へ交通安全を呼び掛けるもの

■募集期限 9月30日(土)

■申し込み・問い合わせ 二戸地区交通安全協会(☎23-3704)

## 休日当番医(9:00～17:00)

月	日	医療機関	電話
8	6	松井内科医院	33-2201
	11	カシオペア医院	23-3331
	13	齋藤産婦人科医院	23-2505
	20	浄法寺診療所	38-2021
	27	ふくもりたこどもクリニック	43-3137

## 休日当番歯科医(9:00～12:00)

月	日	医療機関	電話
8	6	菅原歯科クリニック	23-1180
	11	右門歯科クリニック	38-2288
	13	森川歯科医院	23-6361
	20	沢藤歯科医院	25-4002
	27	菅歯科	23-5161

## ごみ収集日 8月

収集区域	瀬内内/宇堂口/泥の木/平内/妻の神戸田上・下/館の下山根/荒谷/ニツ家	鹿島/伊保内上・下川向/南田	小倉/長興寺上・下大向/五枚橋/荒田雪屋/田代/柿の木江刺家上・下/道地丸木橋/山屋/細屋
燃えるごみ	毎週水曜日	毎週木曜日	毎週金曜日
不燃・ビン・金物	8月1日(火)	8月7日(月)	8月14日(日)
空き缶	8月15日(火)	8月21日(日)	8月22日(火)
粗大ごみ		8月8日(火)	
紙・プラ類	8月10日(木)	8月16日(水)	8月24日(金)

※指定日に、指定の袋で出しましょう。

☎住民生活課保健衛生班☎42-2111 内線123

## 募集します 自衛官学生

平成30年度春採用予定の自衛官の各種学生を募集します。



◀航空学生(空)▶

高卒(見込み含む)21歳未満

◀航空学生(海)▶

高卒(見込み含む)23歳未満

◀一般曹候補生▶

18歳以上27歳未満

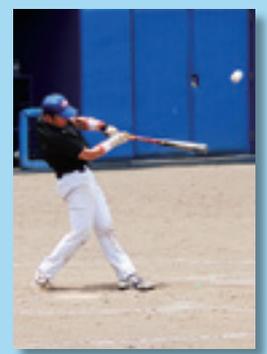
◀自衛官候補生▶

男女とも受け付けは随時

■申込期限

9月8日(金)

■申し込み・問い合わせ 自衛隊岩手地方協力本部二戸地域事務所(☎23-2529)



## 人のうごき

(平成29年7月1日現在)

●人口	5,997人	(-2)
男	2,893人	(-1)
女	3,104人	(-1)
●世帯数	2,173世帯	(+6)
	(カッコ内は前月比)	
転入	8人	(53人)
転出	5人	(90人)
出生	1人	(14人)
死亡	6人	(49人)

(カッコ内は1月からの累計)

### スタッフくへの+



## 若者向け住宅 入居者を募集

### ■募集住宅

- 戸田若者定住促進住宅  
(木造平屋2LDK) …1棟
- 長興寺若者定住促進住宅  
(木造平屋2LDK) …1棟

※入居時期は平成29年8月下旬です。家賃は入居世帯員の構成に応じて決定します(入居後も変動あり)。

### ■入居資格

- ①現に同居し、または同居しようとする配偶者があり、40歳以下の者で構成する世帯
- ②将来にわたり九戸村に居住する者であること
- ③国税・地方税など滞納していないこと
- ④自ら居住するための住宅を必要とする人
- ⑤定められた家賃および敷金を支払う能力がある人

### ■募集期間

8月2日(水)～18日(金)  
午前8時30分～午後5時30分  
※土・日・祝日は除く。先着順ではありません。

### ■必要書類

- ①入居申込書(役場農林建設課にあります)
  - ②住民票(入居希望者全員分の本籍、続柄が表示されたもの)
  - ③所得証明書(入居希望者全員分)
  - ④納税証明書(入居希望者全員分)
- ※入居の際には、敷金の納付や連帯保証人が必要になります。

### ■申し込み・問い合わせ

農林建設課地域整備班 (☎42-2111内線283)

## 一人親家庭 個別相談会

一人親家庭のお父さん、お母さんのための個別相談会を実施します。県の母子・父子自立支援員が相談に応じます。

■日時 8月28日(月)

午後1時30分～午後3時30分

■受け付け 住民生活課で受け付け後移動

■相談内容 就職活動をしたい、養育費が支払われていない、子どもが進学を希望しているなど

■問い合わせ 住民生活課地域福祉班 (☎42-2111内線203)、二戸保健福祉環境センター (☎23-9202)

## 動物の触れ合い 写真コンクール

秋の動物愛護週間に先駆け、動物触れ合い写真コンクールを開催します。

■作品規格 四つ切り、A4、額入り(ひも付き)

■受付場所 グリーン動物病院または二戸保健福祉環境センター環境衛生課

■応募締切 9月12日(火)

■問い合わせ 二戸保健福祉環境センター (☎23-9206)

### 編集後記

◆久しぶりに特集を掲載しました。九戸村にこんなに恵まれた自然があったことを初めて知りました。黒山の昔穴遺跡、雨堤み、ヒメボタル。豊かな自然を発見し、広報に掲載することができました。今後も九戸村にある光輝くものを伝えていきたいと思えます。(下村)



オーケストラを率いて指揮者に挑戦し、堂々と力強い指揮を披露した森恭太郎さん（伊保内高3年）

東京多摩交響楽団演奏会

奏でる音色が  
もたらす清福

東京多摩交響楽団演奏会は  
7月4日、伊保内高等学校校  
育館で開かれました。

東京多摩交響楽団が本村に  
来たのは、平成27年度以来2  
回目。今回は、村内小中高校  
生600人が集まり、演奏会  
を楽しみました。

演奏会ではシンクオペティ  
テッド・クロックやクラリネッ  
ト・ポルカ、ラップ吹ききの休  
日など8曲を演奏。児童や生  
徒たちは普段聞く機会が少な  
い、プロの生演奏を間近で聞  
き入り、醸し出される美しい  
音色に、しばしの間酔いしれ  
ていました。

また、参加した児童生徒が  
プロの演奏に合わせて歌を合  
唱。参加者みんなで「翼をく  
ださい」を歌い上げ、会場全  
体が豊かなハーモニーに包ま

れていました。

楽器紹介のコーナーでは、  
演奏に使っている楽器を紹介。  
バイオリンやピアノ、ピッコ  
ロやオーボエなど、普段馴染  
みが薄い楽器も紹介され、実  
際に演奏して奏でる音色を響  
かせてくれました。

指揮者体験コーナーでは  
ベートーベン作曲「運命」の  
指揮に挑戦。選ばれた7人が  
プロの演奏家たちをリードし、  
大人数の前で緊張しながらも  
貴重な体験をしていました。

児童生徒たちは、普段触れ  
ることがあまり少ない、本場  
の生演奏を実際に肌で感じる  
ことができ、うれしそうな表  
情を浮かべる人や、指揮者  
を見ながら指揮者の動作を真似  
してみたりと、幸せそうなひ  
と時を過ごしていました。

プロの生演奏に合わせて「翼をください」をみんなで合唱



大人数の前で指揮者を体験する釜石堯未君（山根小6年）

